

講義名	研究演習 (商)		
講義コード	25222	授業形態	開講期・曜日・時限 後期 火曜日 5時限
担当教員	柿沼 英樹	備考	

学部・学科	演習分野
商学部経営学科・商学部マーケティング学科	経営管理論・人的資源管理論

概要説明

このゼミでは、組織(会社)と個人(従業員)の関わり合いに関心向けながら、企業経営のさまざまなトピックについて考えます。具体例には、「会社が従業員を管理する」ための仕組み(組織文化、リーダーシップ、人事管理など)や、「従業員が会社による管理に反応を示す」結果としてのモチベーションや業績、キャリアなどが挙げられます。経営管理論と人的資源管理論の授業で触れるような内容を広範に取り扱いますが、「戦略論」よりは「組織論」の色合いを強める予定で考えています。

2年次後期(研究演習)では、関連する文献を読んだり、ビジネス・リサーチの進め方や論文の書き方を学んだりします。実際の学修内容は、履修学生のこれまでの学修状況や興味・関心などに応じて調整します。この取り組みは、3年前期(研究演習)にも継続します。いわば、卒業研究のための基礎固めの期間です。3年前期には、論文を書くプロセスを学ぶために、グループでの論文作成にも取り組んでもらうつもりです。

3年次後期(研究演習)・4年次(卒業研究)には、各自で設定したテーマをもとに卒業研究に取り組んでもらいます。企業にこだわらず、さまざまな組織やそこに関わる個人をめぐる問題意識を持ち、調査と分析を(独力で)進め、ひとつの論文を書き上げることを2年半経過後の最終ゴールとします。卒業研究において考えるテーマは、(経営学の範疇のなかであれば)自由に考えて構いません。

主な卒業論文のタイトル

2021年度から開講のため、卒業生なし

教員よりの要望

ゼミのかたちや歴史と一緒に試行錯誤しながら作ってくれる学生を待っています。ただし、基本的な方向性としては「いろいろと学び、考える」ことを求めますので、友達や思い出をつくる場としての側面だけではないことを事前に理解しておいてください。

選考方法

- ・6名程度の受入を予定
- ・提出書類と面接を判断材料とします。
- ・既得単位数や成績よりも、「なぜこのゼミを選んだか」「どのようなことを学び考えたいのか」を重視します。
- ・男女比や留学生比率は基本的に考えず、応募者を公正に選考して決定します。
- ・個別ゼミ訪問者と未訪問者が同点だった場合には、訪問者を優先的に合格させる場合があります。

評価方法

- ・ゼミでの活動内容(発表、質疑応答での発言、レポートなど)を総合的に評価します。
- ・毎回の出席を前提としているので、合理的な理由のない遅刻・欠席は減点対象とします。

教員英字氏名	研究室
KAKINUMA, Hideki	研究棟 3510

最終学歴
京都大学大学院経済学研究科博士後期課程学修認定退学

学位
博士(経済学)(京都大学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

- <主な研究テーマ>
- ・タレントマネジメントに関する研究
 - ・サービス企業の人材マネジメントに関する研究
 - ・経営学領域の学術研究動向の計量的把握に関する研究
- <社会活動>
- ・三菱総合研究所 新たな雇用のあり方研究会 委員(2021年2月～11月)

- <最近の主な研究業績>
- 柿沼英樹・土屋裕介(2020)『タレントマネジメント入門：個を活かす人事戦略と仕組みづくり』ProFuture.
 - 柿沼英樹・中本龍市・野口寛樹(2021)『専門職サービス組織研究の包括的レビュー』『組織学会大会論文集』10(1), 97-103.
 - 柿沼英樹(2021)『2000年代以降の人的資源管理研究におけるタレントマネジメントの位置づけ - 計量書誌学的手法による探索的分析 - 』『流通科学大学論集 流通・経営編』33(2), 53-71.
 - 柿沼英樹・山本彰子・若林直樹(2019)『従業員定着に対する組織的要因と人事管理要因の影響：京都市内宿泊施設を事例とした探索的分析』『組織学会大会論文集』8(1), 177-182.

趣味・特技

- ・音楽(最近では専ら聴くだけですが、高校・大学時代には楽器演奏もしていました)
- ・スポーツ観戦(特に、野球とモータースポーツ)

所属
商学部経営学科

所属学会
日本労務学会、組織学会、経営行動科学学会

専門分野
人的資源管理、組織行動、キャリア

担当科目
経営管理論A・B、人的資源管理論、経営学入門 など

備考

- ・時間割上の配置日時以外にも、みなさんの希望などに応じて活動を行う可能性があります。

実務経験の有無及び活用